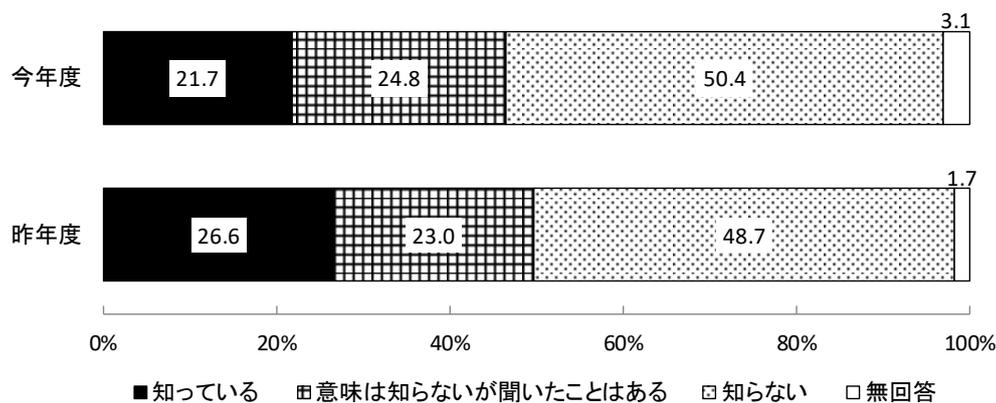


16. 多文化共生について

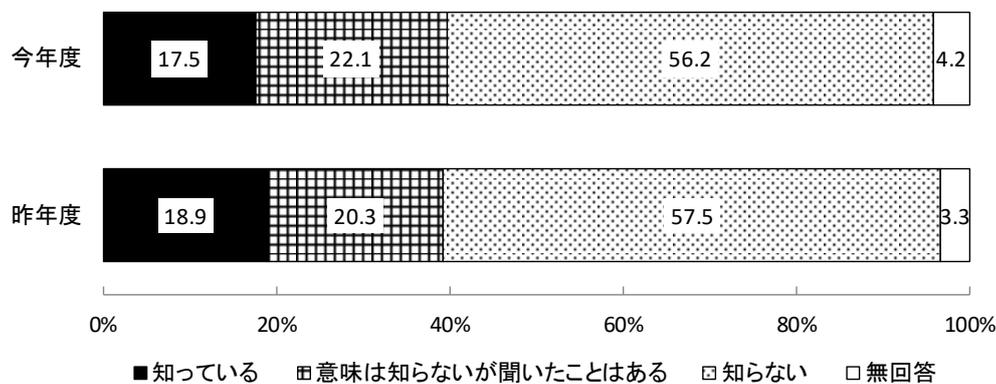
16-1. 多文化共生の認知度

Q16-1 あなたは、「多文化共生」（地域で暮らす外国人と日本人が互いを認め合い共に暮らしていくこと）、及び「やさしい日本語」（普段使われている言葉を、外国人にも分かるように配慮した簡単な日本語のこと）という言葉を知っていますか。（〇はそれぞれ1つ）

(1) 「多文化共生」の認知度



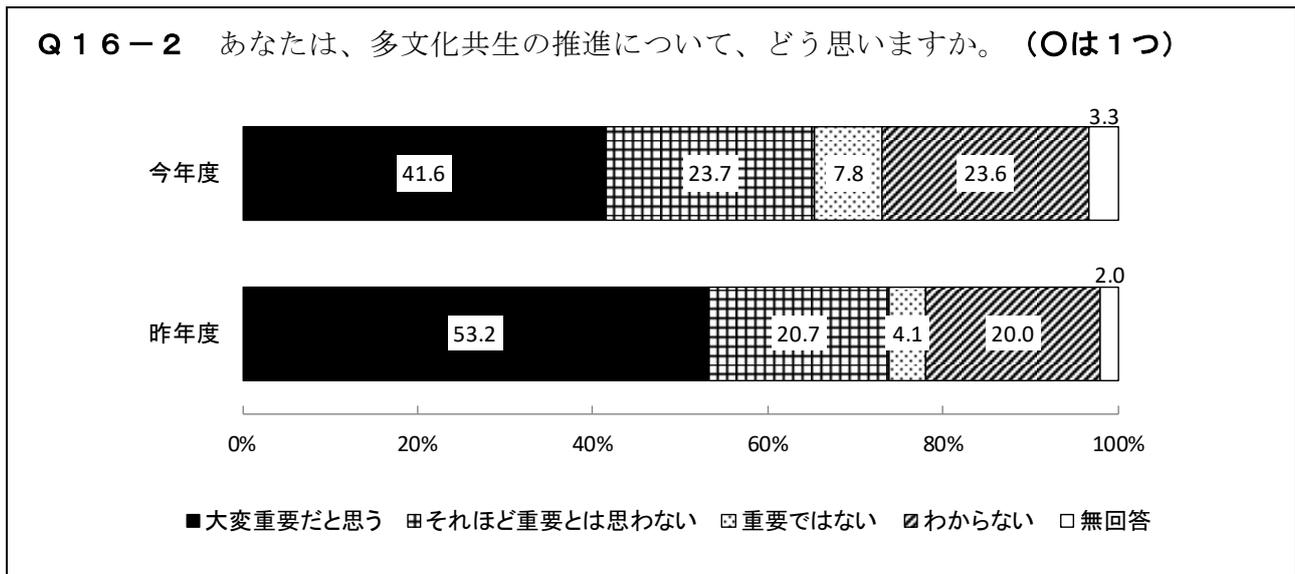
(2) 「やさしい日本語」の認知度



多文化共生の認知度について、「知っている」が21.7%、「意味は知らないが聞いたことはある」が24.8%、「知らない」が50.4%となっている。昨年度と比較すると、「意味は知らないが聞いたことはある」は1.8ポイント、「知らない」は1.7ポイントそれぞれ上昇し、「知っている」は4.9ポイント低下している。

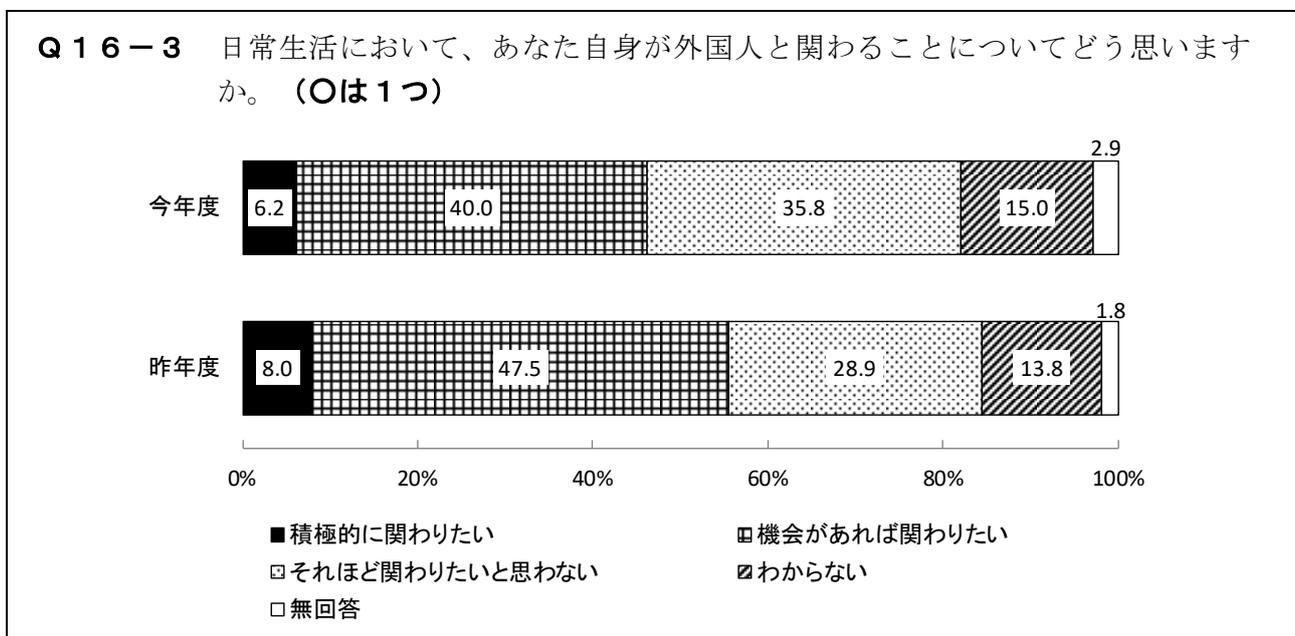
やさしい日本語の認知度について、「知っている」が17.5%、「意味は知らないが聞いたことはある」が22.1%、「知らない」が56.2%となっている。昨年度と比較すると、「意味は知らないが聞いたことはある」は1.8ポイント上昇し、「知っている」は1.4ポイント、「知らない」は1.3ポイントそれぞれ低下している。

16-2. 多文化共生の推進



多文化共生の推進について、「大変重要だと思う」が41.6%と最も高く、次いで「それほど重要とは思わない」が23.7%、「わからない」が23.6%、「重要ではない」が7.8%の順となっている。昨年度と比較すると、「重要ではない」が3.7ポイント、「わからない」が3.6ポイントそれぞれ上昇し、「大変重要だと思う」が11.6ポイント低下している。

16-3. 日常生活で外国人と関わることについて



日常生活で外国人と関わることについて、「機会があれば関わりたい」が40.0%と最も高く、次いで「それほど関わりたいと思わない」が35.8%、「わからない」が15.0%、「積極的に関わりたい」が6.2%の順となっている。昨年度と比較すると、「それほど関わりたいと思わない」が6.9ポイント上昇し、「機会があれば関わりたい」が7.5ポイント低下している。